

平成 30 年第 2 回定例会一般質問通告事項

<p>6 月 13 日 午 後</p>	<p>二 宮 仁 議 員 (平 成 会) 質 問 方 式 : 一 問 一 答 方 式</p> <p>1 手話言語の普及と聴覚障害者支援について (1) 市民理解について ア 尾道市内で市民はどのくらい手話を理解しているのか、市民理解についての認識と今後の方針は イ 障害者手帳ベースで聴覚障害者が尾道市内にどのくらいおられるか。また、そのうち補聴器などを使っても音声認識が難しい方がどのくらいおられるか、現状認識は (2) 手話通訳奉仕員の養成について ア 尾道市と社会福祉協議会が現在、行っている手話通訳奉仕員養成への取組はどんな枠組みがあり、促進するためにどんな取組をしているか イ その結果はこの5年ほどでどう推移しているか ウ 現在、イベント等で同時通訳ができるレベルの手話通訳者は市内に何人おられるか エ その数字に対する感想は (3) 聴覚障害者への支援について ア 補聴器の助成制度は イ 障害者手帳を持たない児童についての助成制度は (4) ヒアリンググループについて ア 尾道市内に設置した公的場所はあるか イ 尾道市にヒアリンググループを設置または購入する場合の助成制度はあるか ウ 携帯型のヒアリンググループの貸出し制度はあるか</p> <p>2 尾道教育みらいプラン2の中の国際交流事業について (1) 国際交流事業として平成29年度にどんな事を実施し、どんな成果を上げていると認識しているか (2) 今年度はそれを踏まえてどう推進しようとしているのか (3) 小学生、中学生を対象にした海外体験プログラムは民間企業のパッケージがあるが、こうしたプログラムに参加している尾道市内の児童、生徒はどのくらいいると認識しているか (4) こうしたプログラムに参加したい中学生を支援する助成金制度を創設する考えはないか</p>
---	--

- 3 藤井川の環境について
- (1) 藤井川の監視、保全作業はどんな体制で行われているのか。
 - (2) 環境悪化の原因の究明は行政ではどこが担当しているか。
 - (3) 企業などに汚染原因がある場合、どんな改善指導が行われるのか。
- 4 産業活性化について
- (1) 平成 30 年度の予算「中小企業等販路開拓支援事業補助」3 年目だと思いますが、これまでの実績と今年度の方針は。
 - (2) 「企業立地促進事業」の平成 29 年度の成果と今年度の方針は。
- 5 合併特例債の再延期について
- (1) 尾道市の合併特例債は現在、利用可能な満額に対していくらかで何パーセントの利用率か。
 - (2) 今後の合併特例債の利用方針は。
 - (3) 尾道市本庁舎の新築工事にはどんな影響が想定されるか。
 - (4) 現庁舎を解体した後の駐車場及び外構、広場の整備計画に変更余地が生まれたが、検討する考えはないか。
- 6 徴税実務について
- (1) 納付すべき金額で期限を過ぎたものはどう対応しているか。地方税法の根拠、担当する人員とともに実務作業を伺う。
 - (2) 尾道市税案内センターの役割は。
 - (3) 差し押さえに至る場合の事例、頻度は。
 - (4) インターネットの公売の平成 29 年から過去 5 年間の公売金額を動産、不動産別に伺う。
 - (5) 平成 28 年度市税収納率の現年度分、滞納繰越分及び合計分は。